

総合計画の継続的な実行に向けて

1

取組の実行

今後の人口減少・少子高齢化や、価値観の多様化、情報社会など絶えず変化し続ける社会においても、しっかりと自立的・持続的な行財政運営を行っていく必要があります。そのためには、各業務において、行政の責任範囲、関与の必要性、受益と負担の公平性を見極め、歳出の削減や効果的・効率的な行政運営を進めていく必要があります。

また、着実な計画の推進のためには、財源の確保は必要不可欠であり、自治の根幹である税および使用料の徴収強化、町内の各産業の活性化、国および北海道の補助制度の積極的な活用に取り組んでいきます。



▲みんな、なかよし、大岸小児童



▲笑顔であいさつを交わす豊小児童

2

計画の推進

第6次豊浦町総合計画は、今後の社会変化に柔軟に対応する観点から、町が目指すべき基本的な方向性を示すものとし、個別具体的な施策・事業については、総合計画に基づいた各分野の個別計画等に委ね、時代に合った施策・事業を展開していくこととしています。

また、総合計画の推進管理については、行政評価によるものとし、関連する事務事業の評価を行いながら、評価手法の精度を高め、効果的・効果的な総合計画の推進を図っていきます。

将来のまちの姿に込めた想い

- ・ 緑あふれる森林や美しい海岸線、豊かで誇れる『自然』に満ちた私たちのまちには、『笑顔』があふれている。
- ・ 子どもたちは『笑顔』で元気に走り回り、すれ違う人たちは自然と『笑顔』であいさつを交わす。
- ・ 地域のお祭りでは、大人も子どももみんな『笑顔』で楽しんでいる。
- ・ 昔からある普通の光景だから、私たちは何とも思わないかもしれないけれども、かけがえのない光景が、このまちにはある。
- ・ この光景を、次世代にしっかりとバトンタッチするのは、今を生きる私たちの大切な役割でもある。
- ・ 「人」が集まって「まち」ができるのだから、人と人とのつながりは、まちの原動力である。
- ・ 次世代にも、笑顔でしっかりとバトンタッチするためにも、そして、このまちのために尽力してきた方々のたゆまぬ努力に応えるためにも、一人ひとりができることを考え、行動し、互いを尊重し、助けあい、『人とのつながり』を大切にしていきたい。

そんな想いを込めて、将来のまちの姿を掲げます。

